

長根だより

令和3年11月15日

No. 7

長根小 学校通信

【校訓】

強く

明るく

よく励む

オーケストラがやってきた！

長根小学校長 弓削 善靖

文化庁による、「文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業」という取り組みがあります。ご存知の通り学校の予算は芸術に触れる経験を子どもたちに積極的に設けられるような規模ではありません。その状況の中でも、子どもたちが少しでも本物の芸術に触れ、豊かな創造力・想像力を養うとともに、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造につなげていくことを目的とする取り組みがこの事業です。

実は、去年も応募し、タイミングがうまくあったので「びわ湖ホール声楽アンサンブル」の皆さんにおいでいただき、本物の合唱を聴かせていただくことができました。大変良い機会となったので、今年もぜひということでオーケストラの巡回公演に応募をしたところ、大変運のよいことに2年連続でこの恩恵を受けることができました。

10月21日（木）に、おいでいただいたのは、「東京ニューシティ管弦楽団」というオーケストラです。エキストラも含め、60名の立派な編成で本校の体育館で演奏していただきました。演奏曲目は、歌劇カルメンの序曲を中心に曲目の解説・楽器紹介とともにしていただくとともに、子どもたちに指揮者体験の場も設けていただきました。続いて解説付きで交響詩「フィンランディア」や外山雄三さんの「管弦楽のためのラプソディー」を聴かせていただきました。「ラプソディー」は、子どもたちもボディーパーカッションで参加しました。大変楽しそうでした。また、オーケストラアレンジによる校歌の演奏もありました。

立派なホールでの演奏会は、ともすれば子どもたちにはマナーはもちろん、チケット代も含め敷居の高いものです。間近で本物の音に触れられる機会がながねっ子たちに与えられ、その感激の様子を目の当たりにできたことは、私たちにとっても大変うれしい出来事でありました。その日は私にとっても、学校生活の中でとても大切な日々の一つとなりました。



1～3年芸術鑑賞会（左）と4～6年芸術鑑賞会（右）

渋柿を収穫してくださいました。ありがとうございました。

地域力向上委員会

3年前、ふれあい広場の柿の木が大変たくさん実（渋柿）をつけたそうです。その後、柿の実ほとんど実をつけていなかったのですが、2年間ためていたエネルギーを一気に吐き出すかのように今年、柿の木が再びたくさんの実をつけました。何名かの希望者にもらっていたのですが、柿の実はいっこうになくありませんでした。

見守り隊で来られていた地域力向上委員会の方に、柿の実がたくさん実ったのでぜひもらってほしい旨をお話したところ、その日のうちに5名の方が来てくださり、一気に収穫してくださいました。最近朝晩はめっきり涼しくなりましたが、この日の日中の気温は、25度を超える高さで、吹き出る汗を拭き拭き、3本の柿の木の実をほぼすべて取ってくださいました。木の下では、枝から実を一つ一つ取り、入れ物に入れ、作業を交代しながら作業が効率よく進みました。作業の効率の良さと行動の速さに長根の地域力向上委員会の底力を見た思いでした。本当にありがとうございました。干し柿・塩漬けの柿をおいしく食べていただけると嬉しいです。



地域力向上委員会 柿の収穫

学校運営協議会が開かれました

10月14日（木）に参加人数を絞らせていただいて実施した授業参観に合わせて、第2回目の学校運営協議会が開かれました。第1回目は、コロナの関係で紙上開催になったため、今年度の委員が実際に全員そろって顔を合わせるのはこの日が最初でした。

協議会では、学校経営方針に基づいて示されていた取り組みの重点事項についての現時点での進行状況、学力テストの結果、ねこSAPOの活動の取り組み状況、PTA組織改編の説明、そうした取り組みの中での子どもたちの状況について報告が行われました。

その後の協議では、自治会さんが子どもたちの安全のために取り組んでおられる、「ながら防犯」の新たな展開と見守り隊のポロシャツ・ジャケット・レインコートの配付についてのお話がありました。また、PTAの組織改編の中で生まれたdoからbeへの質の変化（PTAが何をするかを考える前にどうあるべきかの意識が加わることで活動が積極的で盛んになりつつある）についてのお話や、教科担任制を進めるための教員の加配の必要性についての情報交流や議論など、積極的な話し合いがなされました。

お忙しいなか、おいでくださった協議会委員の皆様、ありがとうございました。次回3回目は、2月16日に開催予定です。今年度の学校評価アンケートについての報告をし、来年度の学校教育目標を決定いたします。どうぞよろしくお願いいたします。



第2回学校運営協議会